

平成24年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492600406	事業の開始年月日	平成23年11月1日
		指定年月日	平成23年11月1日
法人名	医療法人社団 愛友会		
事業所名	グループホーム 東橋本		
所在地	( 252-0144 ) 神奈川県相模原市緑区東橋本4-9-4		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成24年12月15日	評価結果 市町村受理日	平成25年5月13日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/14/index.php?action_kouhou_detail_2011_022_kan=true&amp;IigvosyoCd=1492600406-00&amp;ProfCd=14&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/14/index.php?action_kouhou_detail_2011_022_kan=true&amp;IigvosyoCd=1492600406-00&amp;ProfCd=14&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様の希望が叶えられるような生活空間を目指しています。散歩やドライブをはじめ、外出や外食など、出来るだけ外に出られる生活が送れるような支援を行っています。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成25年2月23日	評価機関 評価決定日	平成25年4月8日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

相模原市などに複数の医療・福祉サービスの事業所を展開している医療法人が運営する「グループホーム東橋本」は、平成23年11月に開設され、1年3ヶ月あまりのグループホームです。JR横浜線または京王相模原線の橋本駅から徒歩15分程の住宅街の一角に3階建てビルの2階と3階にあります。1階には、同法人の小規模多機能事業所が併設されています。

<優れている点>

医療連携体制加算を受け、医療面での体制が整えられていることが挙げられます。医師の往診は内科医が月2回、看護師は週1回訪問しています。歯科医師の訪問も行っています。その他の科の診療が必要な場合の通院には、職員が付き添っています。「重度化した場合における対応に係る指針」などの書類を整備し、看取り介護の経験もあります。また、リビングに設置しているカメラで医師の診察が出来るシステムを備えています。その他、施設設備が充実している事が挙げられます。リビング・廊下・居室の広さは十分あり、各部屋にはエアコン・ナースコール・空気清浄機・スプリンクラー・換気扇が設置され、スイッチ・コンセントは天井近くにあります。浴室には入浴装置を備えています。

<工夫点>

外出の機会を多くしています。日常的な散歩や買物、行事としてのふれあい科学館、宮ヶ瀬などへのドライブをしています。また、布団干しを職員の日課として行っています。小規模多機能型事業所のトレーニングマシンを利用するなどの併設施設としての利点を活かしています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 東橋本
ユニット名	つる

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1	1, ほぼ全ての利用者の
		5	2, 利用者の2/3くらい
			3, 利用者の1/3くらい
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	2	1, 毎日ある
		2	2, 数日に1回程度ある
		2	3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	5	1, ほぼ全ての利用者が
		1	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	1	1, ほぼ全ての利用者が
		3	2, 利用者の2/3くらいが
		2	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		4	2, 利用者の2/3くらいが
		2	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が
		5	2, 利用者の2/3くらいが
		1	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
		5	2, 利用者の2/3くらいが
		1	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1	1, ほぼ全ての家族と
		3	2, 家族の2/3くらいと
		2	3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	2	1, ほぼ毎日のように
		3	2, 数日に1回程度ある
		1	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		1	2, 少しずつ増えている
		5	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1	1, ほぼ全ての職員が
		3	2, 職員の2/3くらいが
		2	3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		2	2, 利用者の2/3くらいが
		4	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1	1, ほぼ全ての家族等が
		2	2, 家族等の2/3くらいが
		3	3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>あまり実践できていないように思う。</li> <li>努力はしていると思う。</li> <li>実践できるよう努めていきたい。</li> <li>チームワークを保っていきたい。</li> <li>施設の理念を念頭に置きながら仕事に臨んでいる。</li> </ul>	理念は、事務室・玄関に掲示していません。管理者は、就任したばかりで理念の把握までには至っていません。また、職員についても理念の浸透を今後の課題としています。	理念は掲示されていますが、管理者などがわかりやすい理念を構築し、職員に対して浸透するような機会を多く設けるなどの対策が期待されます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流しているとは思えない。</li> <li>具体的な交流はない。</li> <li>交流していけるよう努めていきたい。</li> <li>たまに交流している。</li> <li>表立った交流はないが、散歩など外に出た際には挨拶するよう心掛けている。</li> <li>挨拶、下校時の小学生を受け入れている。</li> <li>分からない。</li> </ul>	自治会には加入していませんが、自治会から「お付き合いします」と言われ、地域の夏祭りなどに参加しています。事業所のイベントを開催した際には、近隣にチラシを持って挨拶していません。散歩などで外出した時には、挨拶するように心掛けています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>分からない。</li> <li>交流の場が殆どなく、活かせてない。</li> <li>活かしているとは思えない。</li> </ul>	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>活かしている。</li> <li>分からない。</li> <li>自分が会議に参加していない。</li> <li>サービス向上に生かしている状況にない。</li> </ul>	開設からの開催日を記録で確認できたのは24年1月・4月・7月の3回で、併設施設の小規模多機能型事業所と合同で開催しています。利用者・利用者家族・職員と地域包括センターの職員が参加していますが地域の方の参加が記録にありません。	運営推進会議を適正に開催し、記録を残し、ファイルするなどの対策が期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>分からない。</li> <li>連絡はとれている。</li> <li>連携の材料となる記録を残している。</li> <li>日常的な連絡はない。</li> </ul>	利用者の生活支援に生活保護課担当者が関わっている事もあり、日常的に連携をとり助言等も受けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っていない。</li> <li>・玄関の施錠は利用者様の離接や事故防止のために極力努めている。</li> <li>・最小限にとどめている。</li> <li>・玄関の施錠は実践できていない。</li> <li>・取り組んでいる。</li> <li>・行っている。</li> </ul>	玄関に「身体拘束排除宣言」を掲示しています。「身体拘束に関する同意書」を整備しています。	職員に対しての身体拘束についての理解を深める研修をするなどの対策が期待されます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や事業者内での虐待が見 overs されないよう注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ機会はないが、注意を払い勤めている。</li> <li>・虐待は全くない。事故が起こらないよう、日頃から申し送りで利用者様のケアを確認し合っている。</li> <li>・現状はないと思うが、防止策はない。</li> <li>・努めている。</li> </ul>		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に数回、数人の人は研修に行っている。</li> <li>・あまり話し合ったことはない。</li> <li>・ミーティングはあるが、学ぶ機会はない。</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・利用者様のご家族には多々会うが、契約については関わる事が無い。</li> <li>・管理者に任せている。</li> <li>・図っていると思う。</li> </ul>		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者より利用者様の要望を聞き、極力努めるようにしている。</li> <li>・個々で伺った意見について管理者に伝え、解決まで導いている。</li> <li>・意見や要望を外部者へ表せる機会がない。</li> <li>・管理者にはあると思うが、反映されているかは不明。</li> </ul>	「苦情・相談・事故対応マニュアル」を整備しています。管理者は、「ご家族面談表」を作成し、家族の意見等を記録しています。その他、特定の家族に対しては家族の意見を記入してもらい、その意見に対して回答の文書を交わしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反映していると思う。</li> <li>・分からない。</li> <li>・代表者が職員の意見や提案を聞く機会を設けるべき。</li> <li>・運営に関してはノータッチ。</li> </ul>	管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞くように心掛けています。	会議等での職員の意見や提案の記録が残されていません。今後は、記録に残すことなどの対策が期待されます。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めていると思う。</li> <li>・努めていないと思う。</li> <li>・休憩時間が思うようにとれない。</li> <li>・職員全員で定時で上がれるような協力体制が見られない。</li> <li>・しっかり目を向けてほしい。</li> </ul>		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていないと思う。</li> <li>・進めていると思う。</li> <li>・もっと職場環境、条件の整備に注力すべき。</li> <li>・一部の職員は研修を受けている。</li> <li>・実技的な研修が少ない。</li> <li>・研修に参加したことはある。</li> </ul>		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていないと思う。</li> <li>・していないと思う。</li> <li>・してほしい。</li> <li>・分からない。</li> </ul>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めている。</li> <li>・心掛けている。</li> <li>・あまりできていない。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・分からない。 ・努めている。 ・努めているとは言えない。 ・極力努めているが、医療面において経験不足で配慮できないことはあった。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・築いている。 ・努力している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・築いている。 ・努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・あまり努めていない。 ・努めている。 ・来訪者を迎えたり、思い出の場所へお連れするなどしている。	利用者の中には毎日、友人が来ている人もいます。宮ヶ瀬など馴染みの場所へのドライブに行っています。近隣の医療機関に職員が付き添って行ったりしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めている。</li> <li>・努めているとは思えない。</li> <li>・努めているが、もめごとが多い。</li> </ul>		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・契約終了の方へ接した機会がない。</li> <li>・出来ていない。</li> <li>・現状何もできていない。</li> <li>・これから努めていきたい。</li> </ul>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・検討はしているが、迷う時がある。</li> <li>・困難な場合は本人と話し合い、納得してもらう。</li> <li>・努め、検討している。</li> </ul>	本人からの信頼関係を得るべく話しかけを多くしています。居室担当者が毎月家族に「おたより」を出しています。その「おたより」に本人のエピソードを記入しています。本人の意向の把握に繋がっています。	職員が本人の思いや意向を感じた際に記録を残し、その記録を職員同士が共有し、利用者に対して実践していく新たな仕組みを構築するなどの対策が期待されます。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> <li>・努めている。</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めている。</li> <li>・努めているが、まだ把握できていないところがある。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・していると思う。</li> <li>・ご本人の意見を尊重し、作成されるよう努めている。</li> <li>・作成している。</li> <li>・担当していない。</li> <li>・これから把握して動いていきたい。</li> </ul>	介護計画は、基本的に3ヶ月に1度改訂されています。介護計画作成担当者は、アセスメントを確認しています。カンファレンスでの検討結果を踏まえ本人のケース記録、職員からの意見や情報を基にし作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり活かされていないと思う。</li> <li>・毎日記録は残している。</li> <li>・活かしている。</li> <li>・出来る限り、気づきや記録で職員間の情報共有を図っている。</li> <li>・活かしていきたい。</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組んでいる。</li> <li>・分からない。</li> <li>・取り組めたらよいと思う。</li> <li>・他事業との連携など積極的に行っていきたくと考えている。</li> </ul>		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりしていない。</li> <li>・支援している。</li> <li>・支援できたらいいと思う。</li> <li>・分からない。</li> </ul>		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ている。</li> <li>・支援している。</li> <li>・当グループの往診だけでなく、他医療機関への受診も行っている。</li> </ul>	内科往診は2週間に1回、訪問看護は毎週あります。法人の内科医利用が基本ですが、希望によりそれまでのかかりつけ医を職員対応で継続することができます。法人の内科医、看護部長、訪問看護師と24時間オンコール対応の体制ができています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> </ul>		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・極力努めたいと思う。</li> <li>・行っていない。</li> <li>・行っている。</li> </ul>		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有し、支援に取り組んでいる。</li> <li>・上司に相談したり、情報収集している。</li> <li>・取り組んでいないと思う。</li> <li>・把握できていない。</li> <li>・分からない。</li> </ul>	入所時には「利用者の緊急時や重度化した場合等における対応に係る指針」を用い説明しています。利用者からの要望があれば、看取りに対応できる医療連携体制が整えられ、実績もあります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルがあり、実践したことがある。</li> <li>・職員間で申し送りなど情報は共有、確認しながら行動している。</li> <li>・出来ていないと思う。</li> <li>・訓練を定期的にした方がいいと思う。</li> </ul>		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力体制は築いていない。</li> <li>・築けていると思う。</li> <li>・築いている。</li> <li>・避難経路の理解にとどまっている。</li> <li>・築くべき。</li> <li>・分からない。</li> </ul>	年に2回、避難訓練を実施し、火災報知器や消火器などの取り扱い法についての確認をしています。各部屋に防災頭巾を備えるとともに、スプリンクラーや誘導灯、消火器などを完備し、食料や水の備蓄もあります。	今後は、夜間防災訓練の実施、地域との協力体制の構築、記録の整備などを実施し、防災に対する体制を強化することが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応をしている。</li> <li>・心掛けている。</li> <li>・出来る限り努めている。</li> </ul>	職員は、日常のケアの場面で、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを大切にしよう努めています。	今後は、研修や会議などで話し合い、組織としての姿勢を明確にすることが期待されます。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きかけをしている。</li> <li>・心掛けている。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりできていない。</li> <li>・出来ている。</li> <li>・希望に添えればいいが、職員の人数が足りない。</li> <li>・出来る範囲で希望に添うよう対応している。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていない。</li> <li>・出来ている。</li> <li>・支援していると思う。</li> </ul>		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていない。</li> <li>・出来ている。</li> <li>・している方もいる。</li> <li>・支援できるようになってきた。</li> <li>・一人ひとりの力は生かされていないこともある。</li> </ul>	メニューや食材は外部委託ですが、メインが苦手な食材の時には変更するなど一人ひとりの好みや体調に合わせた対応をしています。誕生会等の行事食や外食などを楽しむ機会もあります。盛り付けや配膳、片づけ等を手伝う利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・水分チェックをしている。</li> <li>・出来ていない。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> <li>・努めている。</li> <li>・出来る限り気を付けているが、嫌がる方に対して強く促せない時がある。</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> <li>・努めている。</li> </ul>	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、日中は全員、声掛け、誘導、介助など、トイレでの排泄に向けた一人ひとりに合わせた支援を行っています。気配で声掛けを繰り返した結果、夜間も自分からトイレに行けるようになった利用者もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組んでいる。</li> <li>・利用者様の意見を聞きながら、スムーズな排便ができるよう、働きかけている。</li> <li>・薬に頼る傾向にある。</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> <li>・時間帯に関しては午後と決まっているが、個々で自由に入浴している。</li> </ul>	原則は午後に1日3名と決めています。利用者の希望に応じ柔軟に対応しています。同性や家族の介助を希望する利用者にも応じています。併設する小規模多機能には機械浴の設備があり、重度化した場合には対応することができます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・支援していけるよう、努めていく。</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・努めている。</li> <li>・</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりしていないと思う。</li> <li>・まだ心配りができていないので、努めます。</li> <li>・支援できている。</li> <li>・状況に応じて行えている。</li> </ul>		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・努力はしている。</li> <li>・努めているが、できているかどうか分からない。</li> </ul>	ほぼ毎日、近隣を散歩しています。また、季節の花見や近くの福祉施設の行事に出かけています。廊下で歩行訓練したり、小規模多機能のトレーニングマシンで身体を動かす利用者もいます。また、買物や銀行などの個別の外出にも対応しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・一部の利用者様はできているように思う。</li> <li>・支援しているとはいえない。</li> <li>・出来る方にはできている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・ご本人より要望あれば電話などしている。</li> <li>・あまりできていないと思う。</li> </ul>		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節感を取り入れられていないと思うが、金魚などは飼っている。</li> <li>・工夫している。</li> <li>・努力しているが、季節感の違いはない。</li> </ul>	リビングは採光がよく、明るく広々としています。窓際にはソファが並べられ、ベランダには季節の草花が用意されています。金魚や行事の写真、作品などが飾られ、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫している。</li> <li>・リビングで過ごしたい方と居室で過ごしたい方がいるので、どちらの環境も大切にさせていただきたいと思う。</li> </ul>		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫している。</li> <li>・あまり行われていないと思う。家族とも相談してもっと工夫していくべき。</li> </ul>	全ての居室にエアコンと空気清浄機が設置されています。利用者は馴染みの家具などを持ち込み、写真や作品を飾り、自分らしい空間を作り出しています。自分で居室の掃除をする利用者もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫している。</li> <li>・あまり行われていないと思う。家族とも相談してもっと工夫していくべき。</li> <li>・住環境からできることをもっと工夫すべき。</li> <li>・努め、配慮していきたい。</li> </ul>		

事業所名	グループホーム 東橋本
ユニット名	かめ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1	1, ほぼ全ての利用者の
		6	2, 利用者の2/3くらい
			3, 利用者の1/3くらい
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1	1, 毎日ある
		4	2, 数日に1回程度ある
		2	3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	3	1, ほぼ全ての利用者が
		2	2, 利用者の2/3くらいが
		2	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	2	1, ほぼ全ての利用者が
		3	2, 利用者の2/3くらいが
		2	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	1, ほぼ全ての利用者が
		1	2, 利用者の2/3くらいが
		5	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	2	1, ほぼ全ての利用者が
		2	2, 利用者の2/3くらいが
		2	3, 利用者の1/3くらいが
		1	4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	2	1, ほぼ全ての利用者が
		2	2, 利用者の2/3くらいが
		2	3, 利用者の1/3くらいが
		1	4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	2	1, ほぼ全ての家族と
		1	2, 家族の2/3くらいと
		4	3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1	1, ほぼ毎日のように
		1	2, 数日に1回程度ある
		5	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		7	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
		6	3, 職員の1/3くらいが
		1	4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		4	2, 利用者の2/3くらいが
		2	3, 利用者の1/3くらいが
		1	4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		4	2, 家族等の2/3くらいが
		3	3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>あまり実践できていないように思う。</li> <li>努力はしていると思う。</li> <li>実践できるよう努めていきたい。</li> <li>チームワークを保っていきたい。</li> <li>施設の理念を念頭に置きながら仕事に臨んでいる。</li> </ul>		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流しているとは思えない。</li> <li>具体的な交流はない。</li> <li>交流していけるよう努めていきたい。</li> <li>たまに交流している。</li> <li>表立った交流はないが、散歩など外に出た際には挨拶するよう心掛けている。</li> <li>挨拶、下校時の小学生を受け入れている。</li> <li>分からない。</li> </ul>		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>分からない。</li> <li>交流の場が殆どなく、活かせてない。</li> <li>活かしているとは思えない。</li> </ul>		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>活かしている。</li> <li>分からない。</li> <li>自分が会議に参加していない。</li> <li>サービス向上に生かしている状況にない。</li> </ul>		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>分からない。</li> <li>連絡はとれている。</li> <li>連携の材料となる記録を残している。</li> <li>日常的な連絡はない。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っていない。</li> <li>・玄関の施錠は利用者様の離接や事故防止のために極力努めている。</li> <li>・最小限にとどめている。</li> <li>・玄関の施錠は実践できていない。</li> <li>・取り組んでいる。</li> <li>・行っている。</li> </ul>		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ機会はないが、注意を払い勤めている。</li> <li>・虐待は全くない。事故が起こらないよう、日頃から申し送りで利用者様のケアを確認し合っている。</li> <li>・現状はないと思うが、防止策はない。</li> <li>・努めている。</li> </ul>		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に数回、数人の人は研修に行っている。</li> <li>・あまり話し合ったことはない。</li> <li>・ミーティングはあるが、学ぶ機会はない。</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・利用者様のご家族には多々会うが、契約については関わる事が無い。</li> <li>・管理者に任せている。</li> <li>・図っていると思う。</li> </ul>		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者より利用者様の要望を聞き、極力努めるようにしている。</li> <li>・個々で伺った意見について管理者に伝え、解決まで導いている。</li> <li>・意見や要望を外部者へ表せる機会がない。</li> <li>・管理者にはあると思うが、反映されているかは不明。</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反映していると思う。</li> <li>・分からない。</li> <li>・代表者が職員の意見や提案を聞く機会を設けるべき。</li> <li>・運営に関してはノータッチ。</li> </ul>		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めていると思う。</li> <li>・努めていないと思う。</li> <li>・休憩時間が思うようにとれない。</li> <li>・職員全員で定時で上がれるような協力体制が見られない。</li> <li>・しっかり目を向けてほしい。</li> </ul>		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていないと思う。</li> <li>・進めていると思う。</li> <li>・もっと職場環境、条件の整備に注力すべき。</li> <li>・一部の職員は研修を受けている。</li> <li>・実技的な研修が少ない。</li> <li>・研修に参加したことはある。</li> </ul>		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていないと思う。</li> <li>・していないと思う。</li> <li>・してほしい。</li> <li>・分からない。</li> </ul>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めている。</li> <li>・心掛けている。</li> <li>・あまりできていない。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・分からない。 ・努めている。 ・努めているとは言えない。 ・極力努めているが、医療面において経験不足で配慮できないことはあった。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・築いている。 ・努力している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・築いている。 ・努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・あまり努めていない。 ・努めている。 ・来訪者を迎えたり、思い出の場所へお連れするなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めている。</li> <li>・努めているとは思えない。</li> <li>・努めているが、もめごとが多い。</li> </ul>		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・契約終了の方へ接した機会がない。</li> <li>・出来ていない。</li> <li>・現状何もできていない。</li> <li>・これから努めていきたい。</li> </ul>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・検討はしているが、迷う時がある。</li> <li>・困難な場合は本人と話し合い、納得してもらう。</li> <li>・努め、検討している。</li> </ul>		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> <li>・努めている。</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めている。</li> <li>・努めているが、まだ把握できていないところがある。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・していると思う。</li> <li>・ご本人の意見を尊重し、作成されるよう努めている。</li> <li>・作成している。</li> <li>・担当していない。</li> <li>・これから把握して動いていきたい。</li> </ul>		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり活かされていないと思う。</li> <li>・毎日記録は残している。</li> <li>・活かしている。</li> <li>・出来る限り、気づきや記録で職員間の情報共有を図っている。</li> <li>・活かしていきたい。</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組んでいる。</li> <li>・分からない。</li> <li>・取り組めたらよいと思う。</li> <li>・他事業との連携など積極的に行っていきたくと考えている。</li> </ul>		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりしていない。</li> <li>・支援している。</li> <li>・支援できたらいいと思う。</li> <li>・分からない。</li> </ul>		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ている。</li> <li>・支援している。</li> <li>・当グループの往診だけでなく、他医療機関への受診も行っている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> </ul>		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・極力努めたいと思う。</li> <li>・行っていない。</li> <li>・行っている。</li> </ul>		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有し、支援に取り組んでいる。</li> <li>・上司に相談したり、情報収集している。</li> <li>・取り組んでいないと思う。</li> <li>・把握できていない。</li> <li>・分からない。</li> </ul>		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルがあり、実践したことがある。</li> <li>・職員間で申し送りなど情報は共有、確認しながら行動している。</li> <li>・出来ていないと思う。</li> <li>・訓練を定期的にした方がいいと思う。</li> </ul>		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力体制は築いていない。</li> <li>・築けていると思う。</li> <li>・築いている。</li> <li>・避難経路の理解にとどまっている。</li> <li>・築くべき。</li> <li>・分からない。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応をしている。</li> <li>・心掛けている。</li> <li>・出来る限り努めている。</li> </ul>		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きかけをしている。</li> <li>・心掛けている。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりできていない。</li> <li>・出来ている。</li> <li>・希望に添えればいいが、職員の人数が足りない。</li> <li>・出来る範囲で希望に添うよう対応している。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていない。</li> <li>・出来ている。</li> <li>・支援していると思う。</li> </ul>		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていない。</li> <li>・出来ている。</li> <li>・している方もいる。</li> <li>・支援できるようになってきた。</li> <li>・一人ひとりの力は生かされていないこともある。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・水分チェックをしている。</li> <li>・出来ていない。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> <li>・努めている。</li> <li>・出来る限り気を付けているが、嫌がる方に対して強く促せない時がある。</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> <li>・努めている。</li> </ul>		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組んでいる。</li> <li>・利用者様の意見を聞きながら、スムーズな排便ができるよう、働きかけている。</li> <li>・薬に頼る傾向にある。</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> <li>・時間帯に関しては午後と決まっているが、個々で自由に入浴している。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・支援していけるよう、努めていく。</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない。</li> <li>・努めている。</li> <li>・</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりしていないと思う。</li> <li>・まだ心配りができていないので、努めます。</li> <li>・支援できている。</li> <li>・状況に応じて行えている。</li> </ul>		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・努力はしている。</li> <li>・努めているが、できているかどうか分からない。</li> </ul>		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・一部の利用者様はできているように思う。</li> <li>・支援しているとはいえない。</li> <li>・出来る方にはできている。</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している。</li> <li>・ご本人より要望あれば電話などしている。</li> <li>・あまりできていないと思う。</li> </ul>		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節感を取り入れられていないと思うが、金魚などは飼っている。</li> <li>・工夫している。</li> <li>・努力しているが、季節感の違いはない。</li> </ul>		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫している。</li> <li>・リビングで過ごしたい方と居室で過ごしたい方がいるので、どちらの環境も大切にさせていただきたいと思う。</li> </ul>		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫している。</li> <li>・あまり行われていないと思う。家族とも相談してもっと工夫していくべき。</li> </ul>		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫している。</li> <li>・あまり行われていないと思う。家族とも相談してもっと工夫していくべき。</li> <li>・住環境からできることをもっと工夫すべき。</li> <li>・努め、配慮していきたい。</li> </ul>		

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 東橋本

## 目標達成計画

作成日: 平成 25年 5月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
2	1	理念の掲示はあるが管理者含め職員も把握していない。	管理者が解りやすい理念を再構築し、職員が賛同でき浸透する機会を多く設ける。	簡素な言葉で、対外内にも理解、賛同できる理念を管理者主導でなく、職員も含めて意見交換を行い完成させる。現在、グループホームと小規模で同様の理念を掲示しているが、事業所の目的に沿った内容に変更し、それを目標としてケアの指針になるよう、ミーティング、カンファレンスなどで都度再確認出来る機会を多く設けたい。	3ヶ月
3	4	開設から断続的に運営推進会議は開催されてるが、地域の方の参加が無く記録もない。	自治会長、民生委員なども含めた運営推進会議を開催する。	H25.5.4現在、自治会長、民生委員に連絡は取り始めている。運営推進会議の意図を理解して頂き、参加を促したい。又定期的な開催も目標とし記録を残しファイリングしていく。	2ヶ月
6	6	「身体拘束排除宣言」を掲示、同意書も整備しているが、身体拘束の基準、内容など職員の理解度が低い。	身体拘束に関する理解を深める場を設け、職員の理解度を深めたい。	スタッフによる身体拘束を考えるチームを作り、当事業所で定期的に勉強会、検討会を開催できるようにする。又、外部研修などにも積極的に参加したい。	3ヶ月
7	11	運営に関して職員からの意見、提案を聞く機会が無い。	管理者は提案、意見を聞くように心掛けているが、断続的ではなく定期的に変更できるようにする。	処遇に関するカンファレンス、ヒヤリング、アンケートなどを実施し、管理者から更なる上位者へ報告出来るようにしたい。その際、提案に関する返答、不可の内容を職員にフィードバックできるようにしたい。全て記録に残す事も心掛ける。	6ヶ月
4	23	利用者様の思いや意向の把握の情報共有が出来てない。記録にも残っていない。	情報共有がなされるようにし、実践した際の検証から次点へ繋げられるようにする。	モニタリングシート、アセスメントシートなどを利用し、定期的に意向を把握できるようにする。又日常会話の中から出た意向などは、別途ノートに記述できるようにする。それらを基にカンファレンスなども開催し、チームで検討、実施。検証までに繋がるようにする。	3ヶ月
1	35	具体的な防災訓練の実施。	夜間を想定しての防災訓練の実施し、地域にも協力して頂く体制を構築する。開催後は記録に残し、防災に対する意識を深める。	運営推進会議や、事業所イベントの際、地域の方々に協力して頂けるよう依頼する。又、早急に夜間を想定した避難訓練も実施し、かつ様々な起こり得る災害なども考慮した検討会も開催し、必要に応じて訓練も行い記録化する。	3ヶ月
5	36	人格の尊重、プライバシーの確保などが組織として明確化していない。	事業所として何が可で、不可なのか。何を持って尊厳、プライバシーとするかなどを明確にし意思統一する。	勉強会などや新任研修などにも組み込み、記録に残し共有できるようにする。	3ヶ月